

# 第25回MaOIセミナー

## 第5回海洋プラスチックセミナー

日時：令和7年11月18日（火）午後1時  
（午後12時45分開場）

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス  
新一口坂校舎1階101講義室  
（WEB配信有）

### ～かつての海を取り戻すために～

海洋プラスチック問題については、その重大性が認識され、ポイ捨て防止の徹底やプラスチック製品の3R、生分解性プラスチックの開発などが進められていますが、すでに海洋に蓄積されてしまったプラスチックに対しての対応策は十分に検討されていないのが実情です。本セミナーでは、海洋プラスチック問題についてこれまでの議論をもとに、最近の進捗状況も踏まえつつ、今後の工学的展開の可能性について議論します。

#### 基調講演1

##### JAMSTECにおける深海プラスチックの研究

JAMSTEC海洋プラスチック動態研究グループ グループリーダー 中嶋 亮太 氏

#### 基調講演2

##### 海洋プラスチック汚染対策に関する国内外の取組

環境省海洋プラスチック汚染対策室長 中山 直樹 氏

#### 総合討論

##### 海洋プラスチック問題への対応の未来

東京科学大学物質理工学院 教授 柘植 丈治 氏、他  
モデレーター MaOI機構統括プロデューサー 橋本 正洋

#### 参加申込はこちらから



※WEB視聴をご希望の方も  
上記フォームから申し込みください

#### セミナーに関する問い合わせ先はこちら

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

〒424-0922 静岡市清水区日の出町9番25号  
清水マリンビル2階

TEL:054-340-1800

担当:事業部

主催:(一財)マリンオープンイノベーション機構

協賛:日本工学アカデミー(予定)

## 登壇者

国立研究開発法人海洋研究開発機構

海洋プラスチック動態研究グループ グループリーダー

中嶋 亮太 氏



**御略歴：**創価大学大学院博士課程修了、博士（工学）。創価大学助教、米国スクリップス海洋研究所研究員などを経て現職。日本海洋学会「環境科学賞」・日本サンゴ礁学会「川口奨励賞」受賞。著書に「海洋プラスチック汚染」（岩波書店）、「狙って獲りにいく科研費」（すばる舎）などがある。

環境省水・大気環境局海洋環境課  
海洋プラスチック汚染対策室長

中山 直樹 氏



**御略歴：**東京大学大学院・オーストラリア国立大学大学院修了。自然環境行政（国立公園、野生生物等）や国際環境条約の担当、鹿児島県庁の出向を経て現職。

東京科学大学 物質理工学院 材料系  
人間医療科学技術コース 教授

柘植 丈治 氏



**御略歴：**九州大学大学院 農学研究科 博士課程 修了博士（農学）  
理化学研究所 基礎科学特別研究員(2000-2002)、東京工業大学 助手(2002-2005)、東京工業大学 講師(2005-2009)、東京工業大学 准教授(2009-2024)、を経て現職。内閣府 上席科学技術政策フェロー(2015-2017)も務める。

MaOI機構理事・統括プロデューサー

橋本 正洋



**御略歴：**東京工業大学修士課程修了、東京大学博士後期課程修了、博士（工学）。  
1982年通商産業省（現経済産業省）入省。産業技術環境局大学連携推進課長、NEDO企画調整部長、特許庁審査業務部長等を歴任。2012年東京工業大学教授、2022年法政大学教授に採用。東京工業大学名誉教授。  
2019年よりMaOI機構理事・統括プロデューサー。

## プログラム

12時45分 開場  
13時00分 開会挨拶  
13時10分 基調講演 1  
14時20分 基調講演 2  
15時30分 総合討論  
17時00分 閉会挨拶  
17時10分 閉会、名刺交換

## アクセス

法政大学市ヶ谷キャンパス  
新一口坂校舎1階101講義室  
（東京都千代田区九段北3-3-9）

東京メトロ、都営地下鉄「市ヶ谷駅」A4出口から靖国通りを東に進み、二つ目の交差点を左折し、最初の交差点の北東角。右図赤印の建物

